

22 清陵高第 17 号
平成 22 年(2010 年)10 月 7 日

高校教育課長 様

長野県諏訪清陵高等学校長
篠原 秀郷

長野県諏訪清陵高等学校への中高一貫教育の導入について

本校は明治 28 年(1895 年)に創設され、以来諏訪地方の中核校として国内外に幾多の有為な人材を輩出してきました。平成 14 年には文部科学省のスーパーサイエンスハイスクール(SSH)事業の開始と同時に、全国 22 校の一つとして指定を受け、平成 17 年の再指定、更に本年から新たに 5 年の再々指定を受けて、海外科学セミナーなどの優れた成果を将来の教育に生かして行こうとしています。

本校では、中高一貫教育について、平成 13 年度及び平成 19 年度に検討した経緯もあり、平成 21 年 6 月、長野県教育委員会の「第 1 期長野県高等学校再編計画」の発表を機に、中高一貫教育研究委員会が設置され、校内の検討を改めて積極的に進めてきました。

また、諏訪地域の教育関係者及び P T A 代表で組織する「諏訪地区中等教育懇談会」は、本年 2 月に『諏訪地域の高校再編の方向性について』を発表し、公立中高一貫校について、諏訪地区全体の学校における教育力の向上に資することを述べた上で、『諏訪地区への設置を期待する』と提言しています。更に本校同窓会の意向や学校ホームページにおける意見募集の結果も考慮して校内の議論を深め、下記の基本的な教育理念に基づき、併設型中高一貫教育を導入して本校の伝統を未来につなげていく方向で意見がまとまりました。

つきましては、本校への併設型中高一貫教育の導入について検討していただきますようお願い申し上げます。

記

- 1 116 年の伝統に培われた「高い学力」「広い視野」「強い意志」を基礎に、21 世紀の社会に貢献できる優れた人材を育成する。
 - 将来の研究活動や社会貢献につながる重厚な教養主義による確かな知性の伸長
 - 探究的な学習による深い思考力と主体的に学ぶ力の涵養
 - 6 年間の計画的な進路学習による将来を展望する構想力と自立心の育成
- 2 生活全般を通して多様な経験を積む機会を設け、豊かな人間性や公共性、社会性を育む。
 - 社会の人々とのふれあいをとおした、共同意識やコミュニケーション能力の育成
 - 幅広い年齢集団の交流を活用した、協調性や指導力の涵養